

《躍進を力に、公約実現に全力をあげます》

ご町内のみなさん。日本共産党です。この場をおかりしまして、総選挙の結果についてご報告させていただきます。しばらくの間、ご協力をお願いいたします。

みなさん。十四日投票の総選挙で、日本共産党は比例代表選挙で六百六万票以上を獲得し、二十議席を獲得しました。さらに、沖縄一区では、赤嶺政賢氏が勝利し、合わせて改選八議席の二倍を上回る二十一議席となり、参議院につき衆議院でも単独で法案を提出できる権利を手に入れました。日本共産党は、国民のみなさんと力を合わせて安倍晋三政権の暴走にストップをかけるとともに、公約実現へ全力を尽くす決意です。引き続きみなさんのご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

みなさん。今回の総選挙で、日本共産党は、「安倍政権の暴走ストップ、日本の政治の五つの転換」と政党助成金の廃止を訴えました。私たちは、安倍政権と正面から対決するだけでなく、どんな問題でも国民の立場に立った対案を示し、国民との共同で政治を動かす―「対決」「対案」「共同」の政治姿勢を貫いて選挙戦をたたかいました。

安倍政権の暴走に対して、多くの国民が「この道は危ない」と感じているもつとで、日本共産党がこの暴走と正面から対決する姿勢を鮮明にしたことが、評価していただけたものと考えています。私たち日本共産党は、新しい国会で、選挙中に訴えた公約を実現するため、獲得した議案提案権も活用しながら全力をつくす決意です。

さて、みなさん。こんどの選挙結果をみて、「自民党圧勝」と評価する向きもありますが、これは事実と違います。自民党の獲得議席数は二年前の前回総選挙を下回っています。政党の力関係をもつとも端的に示す比例代表選挙での自民党の得票率は三三％にとどまっています。自民党が議席で多数を得たのは、何よりも大政党に有利な小選挙区制によるものでしたが、それをもってしても議席を増やせなかったというのが実態です。

しかも、みなさん。安倍政権に最も厳しく対決した日本共産党が躍進したという事実も、民意の重要な現れではないでしょうか。そして、沖縄の四つの小選挙区で、新基地建設反対の候補者がすべて勝利し、県民を裏切った自民党候補者すべてが敗れたことも、きわめて重要な民意として受け止めるべきです。

みなさん。安倍自公政権が、今回の選挙結果をもって、あらゆる問題で国民から白紙委任状を与えられたと考えるならば、大きな間違いです。沖縄から突きつけられた民意、日本共産党の躍進に示された民意を、真剣に受け止めるべきです。安倍政権がこれから進めようとしていることは、消費税一〇％、「アベノミクス」、集団的自衛権、原発再稼働、沖縄新基地建設など、どれをとっても、国民多数の意思に背くものばかりです。それを強行しようとするならば、大きな矛盾が吹き出すことは間違いありません。

日本共産党は、新しい国会で躍進した力を生かして奮闘するとともに、あらゆる分野で一致点にもとづく共同―「一点共闘」、国民との共同をさらに発展させ、安倍政権を包囲し、その暴走を止め、日本の政治を変えるために全力を尽くしてまいります。

最後に、日本共産党が発行しております「しんぶん赤旗」を、ぜひこの機会にご購読いただきますよう、心からお願い申し上げます。ご当地での選挙結果のご報告を終わりにいたします。

ご協力ありがとうございました。